



ジョン万のふるさと土佐清水



第111号

2019年11月1日

たしみず 市議会だより



漁業者の皆さん
(足摺岬・伊佐漁港)

9月会議

○9月会議の概要	2
○議案等の議決結果	3
○一般質問(要旨)	5
○委員会の活動報告	16
○議長の活動報告	21
○議会目録	22



Tosashimizu Geopark Plan
土佐清水
ジオパーク構想



課設置条例の一部改正案を可決！ 中央商店街災害復興対策特別委員会が 所期の目的を達成したことに伴い解散！

9月会議の概要

9月会議は、9月9日に再開し、審議期間を9月30日までの22日間に決定し、市長から報告5件、議案23件が提出されました。

議案第31号につきましては、7月3日及び9日の大雨により被災した市道及び河川の災害復旧工事に係る補正予算案となっており、早急に対応する必要があったため、再開日に所管の委員会に付託し、審査を経た後、審査結果の報告が行われ、採決の結果、原案のとおり可決しました。

また、甲藤議員から議会運営委員会委員を辞任したいとの申し出があり、許可されました。欠員となった議会運営委員会委員には、前田議員が選任されました。

一般質問は、9月17日から19日までの3日間行われ、保育環境の整備、今ノ山風力発電、国保問題、避難所開設訓練、

足摺テルメの運営状況、妊娠から子育て期の支援、ふるさと納税、風しんの流行、オリンピック・パラリンピックの取り組み、防災、学校給食の取り組みについてなど、議長を除く11人の議員全員が質問戦を展開しました。

また、19日には、市長から報告2件及び消費税増税10%に伴う条例改正等の議案19件が追加提出されました。

最終日には、各常任委員会から審査結果の報告を行い、議案第45号について反対討論賛成討論が行われ、採決の結果、全て原案のとおり可決又は認定しました。

また、市長から議案2件及び同意案2件が追加提出され、議案1件を委員会付託の後、委員長報告が行われ、採決の結果、原案のとおり可決及び同意しました。

このうち、議案第74号については、市職員の懲戒処分事案による市長の責任は重いと認識から給与月額100分

の10を1か月、事務方のトップの副市長を同100分の5を1か月減額する条例改正案です。

さらに、1月2日に発生した中央町火災の瓦れき撤去を目的として設置した中央商店街災害復興対策特別委員会の委員長報告が行われ、所期の目的を達成したことに伴い、今後については所管の委員会にて対応を行うこととし、解散しました。

また、9月会議において受理した陳情「土佐清水市迷惑駐車防止に関する条例の制定について」は、休会中の継続審査とすることとし、散会しました。

人事案件

○固定資産評価審査

委員会委員

野村 仁美 氏

(汐見町)新任

○教育委員会委員

山下 佳一 氏

(足摺岬)再任



議案等の議決結果

議会	番 号	件 名	議決結果
9 月 会 議	報 告 第 1 0 号	専決処分した事件の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	—
	報 告 第 1 1 号	専決処分した事件の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	—
	報 告 第 1 2 号	専決処分した事件の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	—
	報 告 第 1 3 号	専決処分した事件の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	—
	報 告 第 1 4 号	専決処分した事件の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	—
	報 告 第 1 5 号	専決処分した事件の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	—
	報 告 第 1 6 号	専決処分した事件の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	—
	議 案 第 3 1 号	令和元年度土佐清水市一般会計補正予算(第2号)について	可 決
	議 案 第 3 2 号	令和元年度土佐清水市一般会計補正予算(第3号)について	可 決
	議 案 第 3 3 号	令和元年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
	議 案 第 3 4 号	令和元年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可 決
	議 案 第 3 5 号	令和元年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
	議 案 第 3 6 号	平成30年度土佐清水市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	議 案 第 3 7 号	平成30年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	議 案 第 3 8 号	平成30年度土佐清水市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	議 案 第 3 9 号	平成30年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	議 案 第 4 0 号	平成30年度土佐清水市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	議 案 第 4 1 号	平成30年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	議 案 第 4 2 号	平成30年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	議 案 第 4 3 号	平成30年度土佐清水市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	議 案 第 4 4 号	土佐清水市物流センターの設置及び管理に関する条例の制定について	可 決
	議 案 第 4 5 号	土佐清水市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 4 6 号	土佐清水市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 4 7 号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 4 8 号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 4 9 号	土佐清水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 5 0 号	土佐清水市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 5 1 号	土佐清水市子ども・子育て支援法施行条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 5 2 号	土佐清水市消防団員の定員等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 5 3 号	工事委託協定の変更について	可 決
	議 案 第 5 4 号	令和元年度土佐清水市一般会計補正予算(第4号)について	可 決
	議 案 第 5 5 号	土佐清水市市民センター設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 5 6 号	土佐清水市情報通信用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 5 7 号	土佐清水市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 5 8 号	土佐清水市立中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 5 9 号	土佐清水市立市民文化会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 6 0 号	土佐清水市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 6 1 号	土佐清水市竜串ふれあいセンターの設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 6 2 号	土佐清水市立福祉センター使用条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 6 3 号	土佐清水市共同生産作業所設置条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 6 4 号	土佐清水市斎場条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 6 5 号	土佐清水市海洋生物研究施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 6 6 号	宿泊温泉施設足摺テルメの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決

議会	番 号	件 名	議決結果
9 月 会 議	議 案 第 6 7 号	あしずり港交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 6 8 号	土佐清水市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 6 9 号	土佐清水市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 7 0 号	土佐清水市給水条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 7 1 号	土佐清水市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	議 案 第 7 2 号	工事請負契約の締結について	可 決
	議 案 第 7 3 号	宿泊温泉施設足摺テルメの指定管理者の指定について	可 決
	議 案 第 7 4 号	土佐清水市長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
	同 意 案 第 2 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
	同 意 案 第 3 号	土佐清水市教育委員会委員の任命について	同 意

賛否の分かれた議案

番 号	件 名	谷口 佳保	弘田 条	武政 健三	山崎 誠一	吉村 政朗	作田 喜秋	岡本 詠	甲藤 眞	細川 博史	前田 晃	浅尾 公厚	永野 裕夫	議決結果
議 案 第 3 6 号	平成30年度土佐清水市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	認 定 (賛10、反1)
議 案 第 4 4 号	土佐清水市物流センターの設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	可 決 (賛10、反1)
議 案 第 4 5 号	土佐清水市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	議長	可 決 (賛9、反2)
議案第55号「土佐清水市市民センター設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について」から 議案第71号「土佐清水市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について」までの消費税の税率引き上げに関連する議案17件について(一括採決)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	議長	可 決 (賛9、反2)

委員会名簿

◎委員長 ○副委員長

常 任 委 員 会			議 会 運 営 会 委 員 会
総 務 文 教	産 業 厚 生	予 算 決 算	
◎ 甲藤 眞	◎ 谷口 佳保	◎ 弘田 条	◎ 細川 博史
○ 前田 晃	○ 武政 健三	○ 吉村 政朗	○ 作田 喜秋
弘田 条	吉村 政朗	谷口 佳保	弘田 条
山崎 誠一	作田 喜秋	武政 健三	武政 健三
浅尾 公厚	岡本 詠	山崎 誠一	前田 晃
	細川 博史	作田 喜秋	
		岡本 詠	
		甲藤 眞	
		細川 博史	
		前田 晃	(議 長)
		浅尾 公厚	(副 議 長)
5 人	6 人	1 1 人	5 人 + (2 人)

一般質問

甲藤

眞

議員



1 清水の保育環境の整備に

(質問)

保育士が長く働きやすい条件整備を

ついて

(こども未来課長)

一昨年、議員が提案した大府市の例のように、園長経験者の中から指導保育士を選任し、保育研修の計画立案や保育現場の様々な環境の改善を図り、メンタル面でも相談に乗る「指導保育士制度」について勉強させていただいた。

「指導保育士制度」に代わる事業として、保育実績と経験を持つ保育のプロを「保育士支援アドバイザー」として雇用、各保育園を巡回し、保育計画の立案や様々な課題の改善に向け保育業務全般に関する助言、指導など実施しながら、保育士が働きやすい環境整備のため保育士支援アドバイザーの設置について今9月会議で提案している。

2 清水の観光再興へ投じる一石

(質問)

教育旅行の誘致について

(観光商工課長)

「全国ほんもの体験ネットワーク」という協議会総会に参加して、今や教育旅行は見たたり聞いたたりだけではなく、その地域の人たちとの交流や生活の体験が求められており、一朝一夕ではできない取り組みだと改めて感じた。

一方で、本市にはジョン万次郎という、他にはない、次代を担う青少年の健全育成には格好の題材がある。宿泊施設利用と合わせた魅力ある教育旅行のメニュー化を、旅館組合、幡多広域観光協議会とも連携し取り組みを進めたい。

(質問)

本市のMICEに対する考え方について

(観光商工課長)

高知県観光コンベンション協会においても、MICE誘致を推進し

ており、県内で開催した団体等への補助制度もあり、実績もあるので、調査研究し取り組んでいきたい。

3 ハッピーシルバー構想

内需を生む交通施策について

(質問)

高齢者の路線バス料金を市内全で100円にしては

(企画財政課長)

制度を導入した場合、市町村ごとに算定されている運行補助金額や対象者の確認方法等の問題がある。市の負担の試算を行いながら、可能かどうか、交通事業者等と協議し、研究したい。

(質問)

高齢者の路線バス料金を市内100円にすることで、「お買物は市内で！」ということが定着するのではないかと、内需を改善する方法論の一つとして交通施策を研究検討するよう要請する。

気になる用語

MICE… M:Meeting(企業会議・大会・研修会等の会合)
(マイス) I:Incentive(報奨・研修旅行)
C:Convention(学会や産業団体等の大規模な会議)
E:Exhibition/Event(展示会、見本市等のイベント)
の頭文字をとった造語で、多くの集客交流が見込めるビジネストラベルの形態のこと。参加者が多くだけでなく、一般の観光旅行に比べ消費額が大きいと、MICEの誘致に力を入れる国や地域は多く、日本でも誘致活動が盛んに行なわれている。

気になる用語

全国ほんもの体験ネットワーク 体験型観光の振興に取り組んでいる全国組織。農家や漁家に泊まりながら、それぞれの地域における体験プログラムを作り、教育旅行や外国からの旅行者向けに売り出している団体で構成されている。
このメンバーの中で、特に教育旅行に特化して活動を広げる組織として、「全国教育民泊協会」を設立し、民泊による教育旅行の需要が増大する中で、他組織との差別化を図りながら、教育効果が高く安心安全な受入地を目指していく取り組みもある。

一般質問

弘田

条

議員



1 太陽光発電施設について

ついて

(質問)

各施設の発電実績について

(ことも未来課長)

清水中学校・きらら清水保育園は、売電及び自己消費で年間電気代が33〜34%削減された。

(市民課長)

太田、中浜発電所は、年間平均9500万円ほど売電料があり、これまでに基金が2億47万円程度となった。

2 省エネについて

(質問)

電気自動車について

(総務課長)

市役所で電気自動車を3台所有しており、これまでガソリン代が約55万4000円削減された。電気自動車の購入については、地球温暖化対策実行計画の目標達成に向け、必要な取り組みであると認識している。

3 今ノ山風力発電について

ついて

(質問)

現在の状況について

(市民課長)

10月4日まで環境影響評価方法書を市民課で縦覧を行い、9月20日には三崎において住民説明会を開催すると聞いている。

(質問)

風力発電の規模や配置場所など

(市民課長)

1基当たり5・5MWで36基全体の出力が198MW、設置場所は三原村との境界の今ノ山近辺となっている。

(質問)

申請や工事期間など

(市民課長)

今後、準備書、評価書、工事計画の申請をし、認可を受ければ工事着手となる。全ての工事が終了し発電事業開始は、令和7年2月の予定となっている。

4 文化財、その保護と活用について

について

(質問)

国指定文化財「吉福邸」の現状について

(生涯学習課長)

母家・納屋・釜屋・門屋の4棟が平成11年5月に国重要文化財の指定を受けた。

指定当初は、管理団体として「松尾さえずり会」が結成されていたが、リーダーの転出や構成メンバーの高齢化により、活動できない状態になり、門が閉ざされ戸も閉められることが多くなったことが、家屋の老朽化を進めることになった。

国重要文化財建造物であるが、個人所有の建造物でもあり、所有者の意向を踏まえて対応する必要があるため、有効な手立てをとることができなかった。

緊急な応急修理をする必要がある場所は、所有者負担により修理を行った。



吉福邸

(質問)

真念庵の現状について

(生涯学習課長)

真念庵は、屋根部分の雨漏りなど老朽化が顕著になり、沖上区長を中心に募金を募り、本年度中に建替えが行われることとなった。

8月5日の定例教育委員会において市文化財審議会から答申があり、市の登録文化財となった。

一般質問

前田

晃
議員



1 国保問題に関わって

(質問)

本市の資格書交付世帯数(年度末)と1年間の受診数は?

(市民課長)

H 29年度は18世帯で18件、H 30年度は24世帯で25件となっている。

(質問)

資格書交付世帯の受診数は、1世帯当たり1年間に1件ということになり、あまりにも少ない。資格書が受診を抑制していると考えられるが市長の感想は?

(市長)

これらの数字をもって一概に資格書が受診抑制になっているとは言えない。

(質問)

全国・県下ともに約3割の自治体は、医療保障を優先して資格書ではなく短期証で対応している。本市も医療保障優先に転換すべきではないか?

(市長)

資格書交付の前に滞納者との接触の機会を得よう努めている。特別な事情があると判断した場合に、医療保障の観点から短期証を交付している。

(質問)

資格書の交付を減らすための直接面談の義務づけ、短期証の交付基準の見直し、職員の配置についての市長の所見は?

(市長)

担当課が実態把握に努め、相談の機会を作る努力をしている。短期証の交付基準については現在の要件が妥当と判断している。

職員の配置は今のところ考えていない。

2 第三セクター(三セク)の合併について

(質問)

三セク合併後の賃金、労働条件、就業規則は?

(市長)

土佐食の賃金、労働条件、就業規則で運用すると聞いている。

(質問)

外国人労働者の待遇と受け入れ体制は?

(市長)

賃金・労働条件などは土佐食の就業規則を適用。住居は電化製品を完備した上で居住場所を提供(家賃5000円程度)、自転車を1台提供、外国人同士の交流の場を設けることなどを聞いている。

(質問)

土佐食が外国人労働者用宿舍として旧公務員宿舍を購入したことは事実か?

(市長)

建物を購入した報告は受けたが、その後両者間で契約の解約を合意し手続きをしていると聞いている。

(質問)

5日前の質問通告の時には土佐食が所有していたが、その後解約した理由は?

た理由は?

(市長)

個人の資産情報に関わることになるので議会が関与すべきではないと考える。

(質問)

解約により私の通告していた質問が個人情報に触れるためでなくなった。宿舍の購入及び解約を決定した会議の議事録を請求したい。

気になる用語

第三セクター… 国や地方自治体(第一セクター)と民間企業(第二セクター)との共同出資の事業体。本市においては、土佐清水ホールディングス株式会社、土佐食株式会社及び株式会社元気プロジェクトの第三セクター3社が令和元年10月1日から合併し、土佐清水食品株式会社となった。

一般質問

山崎 誠一

議員



1 避難所開設訓練について

(質問)

災害時の二次避難所である幡陽小学校で災害物資の受け入れや学校施設の確認、避難者の受け付けなど避難所開設運営訓練を7月に行った。地域の自主防と児童一人一人が非常時において自ら命を守るために考え行動し、防災意識を高める目的であったが、避難所運営マニュアル作成までの経過とその効果について

(危機管理課長)

東日本大震災では、公的な支援活動が被災地全体に行きわたらず、近い将来起こり得る南海トラフ地震でも同様で、避難所の運営まで手が回らないと予想される。被災者自身が主体的に開設や運営に関わるよう求められる。

いざという時に困らないように、自主防が中心となって、各二次避難

所に運営マニュアルを作成しており、平成27年度に着手し30年度に完成した。何より、地域の自主防災組織と学校現場が協力し、主体的に準備から訓練まで行われたことが、災害時に役立つ、何よりの成果だと思う。

2 人権を尊重する社会づくり

行動計画について

(質問)

行動計画の見直しの必要性について

(じんけん課長)

私たちの社会には、痛ましい児童虐待事件やイジメ、様々なハラスメントに係る深刻な事案が発生し、ヘイトスピーチやインターネット上では誹謗中傷、差別書込みが後を絶たないなど、深刻な人権問題が存在している。また、人権を取巻く社会情勢は急速に変化しており「災害と

人権」や「性的指向・性自認」など新

たな人権問題も発生し増えている。

人権三法が施行され、国、県の動向及び社会情勢の変化を踏まえ、現状と課題を検証し、今後の施策を総合的かつ計画的に推進するため、計画の見直しが必要と認識している。

(質問)

意識調査を行い実態の把握をする必要性について

(じんけん課長)

同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けて、人権に関する意識の現状を調査し、教育・啓発施策の効果的な取り組みを行うための基礎資料とする。

今回の調査結果を、これまで実施した結果と比較し、市民の意識の変化を把握し、県民意識調査との比較、設問や用語の解説を通じて人権に対する理解を深めてもらう効果が期待できる。

気になる用語

性的指向… ・性自認

性的指向とは、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛などのこと。性自認(心の性)とは、自分の性別に関する自己意識のこと。近年では、性的指向・性自認を総称して「LGBT」と表現されることもある。

L (Lesbian レズビアン) …同性を好きになる女性
G (Gay ゲイ) …同性を好きになる男性
B (Bisexual バイセクシュアル) …性別に関わらず、異性や同性を好きになる人
T (Transgender トランスジェンダー) …心の性と体の性が一致していない人

気になる用語

人権三法…

平成28年4月に制定された「障害者差別解消推進法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)」、同年6月に制定された「ヘイトスピーチ解消法(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)」及び平成同年12月に制定された「部落差別解消推進法(部落差別の解消の推進に関する法律)」のこと。

一般質問

吉村 政朗

議員



1 財政状況について

(質問)

地方公共団体の財政健全化に関する4つの指標は基準内だが、実質単年度収支は、3年連続で赤字決算になっている。見解は？

(企画財政課長)

小泉政権による三位一体改革により、平成16年度から3年連続赤字になったが、その時に匹敵するほど厳しいと認識している。

更なる歳出抑制と歳入確保に取り組む。

(質問)

実質単年度収支が赤字であるので、特に慎重な財政運営を強く要望する。

2 ふるさと納税について

(質問)

ふるさと元気寄付金の増収に向けた取り組みを強化しているのか

(企画財政課長)

返礼品のバリエーションやトツ

プページの露出を増やしたり、事業者向けの勉強会等、返礼品の充実とPRに取り組んでいる。

(質問)

ふるさと納税先進地の室戸市は、担当部署が産業振興課にあり、関係機関との連携がスムーズにとれるとのことだった。検討してどうか

(企画財政課長)

今年度の行政改革推進本部の中で、担当部署及び体制について協議・検討している。

3 足摺テルメの運営状況について

(質問)

運営会社との契約が今年度末で終了するが、再契約や売却も含めた協議を進めているのか

(企画財政課長)

市の負担が抑えられる条件や売却も選択肢として協議している。

(質問)

売却も視野にあるのなら、契約

は単年度契約にするべきでは？

(市長)

吉村議員のご指摘のとおり、短期間契約となるよう、検討して結論を出したいと思う。

(質問)

市民感情からしても、待ったなしの状況だ。早急な対応を求める。

4 総合福祉サービス拠点施設の状況について

(質問)

先進的な複合型福祉拠点が開設されたが、事業別に見ると緊急シヨートと放課後デイサービスの利用率が極端に低い。改善が必要ではないか

(健康推進課長)

緊急シヨートは、まだ馴染みのない制度であるため関係者の方々に、広く周知を図っていききたい。

(福祉事務所長)

放課後デイサービスは、保護者の求めるものと施設で提供できる支

援とのマッチングができなかった。これからは、利用者から選ばれるよう協議を続けていく。

(質問)

地域密着型特養が多床室型になっている。国の指針では個室型整備が基本となっているが、しおさいがありながらなぜ多床室型になったのか

(健康推進課長)

個室は利用者負担が増えること等、本市の実状を考え個室的な多床室とした。



総合福祉サービス拠点施設

一般質問

細川 博史

議員



1 妊娠から子育て期の

支援について

(質問)

妊娠・出産となっても、近くに祖父母や相談する人がいない家庭も多い。不安をかかえやすい妊産婦が、一人で悩むことなく、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、本市ではどのような支援を行っているか

(健康推進課長)

健康推進課内に「子育て世代包括支援センター」を設置し、母子保健コーディネーターが面談を行い、支援内容について説明し、家族の情報や不安要素などの聞き取りもした上で個々の支援台帳を作成している。

産前・産後サポート事業は、子育てサポーター養成講座を実施し、安心して子育てができるような支援を行い、産後ケア事業は直接身体に触れてのサポートや、状況に応じた育児指導、家族等の身近な支援者と

の関係調査などを実施している。

(質問)

今後の取り組みについて

(市長)

新設した「子育て世代包括支援センター」を核として、妊娠から出産・産前・産後のサポート体制を充実させ、安心して子育てができる環境を作るよう努めていきたい。

2 児童虐待について

(質問)

児童虐待の対応業務は、福祉事務所から教育センターへ移行したが、現在の業務内容は

(教育センター所長)

関係機関や専門職が一つの場所で連携することで、発達障害等の個別支援が必要なケースやその保護者の対応についても、迅速な支援が期待できる。

業務内容については従前と変わらないが、関係機関が連携し、取り組むことで、個別対応が必要な児童や保護者にも寄り添うことが可能

となった。

(質問)

今後の児童虐待防止の取り組みについて

(教育センター所長)

相談支援体制の充実強化に取り組むとともに、一人一人に対しきめ細やかな対応、寄り添う支援を継続させていきたい。関係機関と連携しながら、児童の権利が守られるよう、児童虐待の発生予防と早期発見、発生時の迅速適切な対応に努めていきたい。

(質問)

児童虐待に向けた相談支援体制について

(市長)

悲しい事件を絶対起こさせないためにも相談・支援体制の充実・強化、児童虐待対策に取り組むという強い決意が一番大切であり、子どもの命を守ることを第一に考えて、今後も取り組んでいく。



子育て世代包括支援センター



土佐清水市教育センター

一般質問

武政

健三

議員



1 ふるさと納税について

(質問)

平成30年度本県3位の室戸市が12億2703万円に対し、本市は9526万円、その相違点は？

(企画財政課長)

室戸市の人気返礼品は、安定的な冷凍の鰹やマグロの確保と、製造業者の協力で加工とストックが大量にできること、返礼品数が本市の約220に対し400以上あること、インターネットサイトも本市の6に対し、10あり間口が広いことが考えられる。

(質問)

本年度は担当課の努力で2億円に届きそうとのこと、普通に頑張れば来年は3億円を狙えるはず。仮に来年度室戸市の半分近くの5億円を目指すとしたら何が必要？

(企画財政課長)

返礼品、事業者を増やし高額寄附につながる定期便を増やすこと、また事業者との協力体制の強化により、リピーターにつながる対応を心

がけるとともに、情報発信力・PR力の強化が必要と考える。

(質問)

寄附金が増え事務量が増えるが、人員の増員は考えているか？

(副市長)

今年度の行政改革推進本部において、来年度の「ふるさと納税業務」の担当部署・体制について協議・検討中。

(質問)

本市の大きな伸びしろなので、私も「そりゃあみんなに言うっちゃらないかん作戦」を実行しますので、5億円を狙える体制の検討をよろしくお願いします。

2 人口減少が進む中、結婚のサポートをして子どもを増やし、お客(披露宴)をして、かつての活気のある街に！

かつての活気のある街に！

かつての活気のある街に！

(質問)

出合いの場を作る取り組みはあるか？

(観光商工課長)

H28年から市内の任意団体に委

託し「出合いのきっかけ応援事業」として年に2〜3回イベントを実施。

(質問)

その取り組みによる実績は？

(観光商工課長)

これまで結婚されたカップルが3組、そのうち出産されているのが2組。

(質問)

披露宴実施率は全国平均及び高知市周辺は約50%、本市は約20%となっている。

結ばれたカップルが土佐清水でお客(披露宴)をすれば、あらゆる食材、酒屋、花屋、二次会でのスナック、バー、送迎バスやホテル他、あらゆる職種25業種以上、30〜40件以上の店舗から約300万円の経済効果が見込まれる。

不景気な街の活性化につながることで、市が何らかの手助けはできないか？

(副市長)

公費での支援は難しいが、行政として可能な範囲での支援・協力を行いたい。

気になる用語

披露宴実施率… 婚姻の届け出をしたカップルが披露宴を実施する割合。



「出合いのきっかけ応援事業」のちらし

一般質問

作田 喜秋

議員



1 風しんの拡大防止について

ついで

(質問)

国は今年度末で41歳から57歳になる男性を対象に、免疫の有無を調べる、抗体検査や予防接種を原則無料化した。

本市の対象者数と通知方法は

(健康推進課長)

対象者は、4月1日時点で1257人。

41歳から47歳になる540人には、直接病院等で受診できるクーポン券を送付し、48歳から57歳になる717人には、通知文を送付した上で希望があれば、クーポン券を発行している。

(質問)

抗体検査、予防接種の受診状況は

(健康推進課長)

9月6日付で高知県国民健康保険団体連合会から、7月診療分として風しん追加的対策にかかる初め

ての請求があり、それによると、抗体検査を受けられた方は53人、予防接種の対象者は17人で、予防接種を受けられた方は3人。

(質問)

周知方法は

(健康推進課長)

6月から毎月広報に掲載し、市のホームページ等でも周知を行っており、公的機関に対しては、受診しやすい環境づくりのため依頼文を送付している。

(質問)

市職員の対象者数と受診状況は

(健康推進課長)

対象者は74人で、11人が受診、予防接種の対象となった職員は2人。

2 液体ミルクの備蓄について

ついで

(質問)

防災用備蓄品の状況は

(危機管理課長)

土佐清水市備蓄計画に基づき、食

糧や飲料水をはじめ、生活用品などを計画的に配備しており、食糧については、地震発生後の1日3食分を、各二次避難所を中心に備蓄し、それ以降は、全国から送られてくる食糧、物資で対応する。

(質問)

過去3年間の出生数は

(危機管理課長)

平成29年度56人、30年度43人、今年度は8月末で9人。

(質問)

災害時の備蓄物資に液体ミルクを採用してもらいたい

(危機管理課長)

現在液体ミルクを備蓄計画の中には入っていない。しかし、被災時の多様なニーズに応える必要がある。今後検討していきたい。

(質問)

市長の見解は

(市長)

液体ミルクは、東日本大震災や熊本地震で、その利便性から注目が集

まり、2018年8月に国内での製造、販売が解禁された。

液体ミルクは乳幼児のいる家庭が被災した場合、必需品となるため、危機管理課と協議し、来年度からといわず、本年度の既決予算で、県下に先駆けて速やかに備蓄したいと考えている。

気になる用語

風しん… 発熱や発しん、関節炎などを特徴とするウイルス性発しん症のこと。飛沫感染(せきやくしゃみ)し、非常に強い感染力をもっている。昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は、これまで公的な予防接種を受ける機会がなく、抗体保有率が低いため、国は抗体検査や予防接種の原則無料化を行い、積極的な接種勧奨を行っている。

一般質問

谷口

佳保

議員

1 オリンピック、パラリン

ピックの取り組みについて

(質問)

地域活性化、婚活イベント、観光振興につながる清水独自の応援村にぜひ取り組んでほしいが市長の所見は

(市長)

10月に高知市で開催される全国応援村実行委員会で詳細が決定されるので、それを受けて実施可能か検討していきたい。

2 災害前の対応について

(質問)

災害発生前に市はどのような対応をしているか

(危機管理課長)

防災行政無線、土佐清水市ホームページ、エリアメール等の活用、テレビ・ラジオ等の報道関係、消防団等による該当地区への広報等や自主防災組織・自治会等への情報伝達及び自主防災組織・自治会等から地

区住民への周知依頼を行っている。

また、大規模・広域的な災害に関しては「全国瞬時警報システム」でも周知される。

(質問)

高齢者に対して特別な取り組みはないか

(危機管理課長)

高齢者に対してではないが、防災行政無線の聞きづらいところには個別受信機を貸与している。

(質問)

そばにいらなくても離れていても、電話や訪問などで不安や心配さを解消できる仕組みづくりを各団手で手分けし実施できるような取り組みができないか

(健康推進課長)

地域包括支援センターでは、台風や大雨などの際に食事の用意や避難に心配のある方などに電話で連絡したり、区長や近所の方が地域の支えあいの中で、声かけをしている場合もあるようだ。

市の取り組みとして、生活の基盤



が自宅にある方のうち、要介護認定3から5を受けている方や、身体障がい者手帳1・2級の第1種を所持する方等の対象者を抽出し、避難行動要支援者名簿への登録同意を呼びかけ、同意された方を登録し避難行動要支援者名簿を作成している。

この名簿を、実際避難支援等を行う関係者へ提供し、避難支援や安否確認等に役立てるとともに、平常時の地域の見守りや日常的な支え合い活動につなげていく取り組みを行っている。

(質問)

8月31日現在、土佐清水市の人口は1万3409人で高齢化率48・2%。

人口減に歯止めがきかない、高齢化率が上昇している本市だからこそ、独自の取り組みで、市民に寄り添う対策を要望する。

気になる用語

応援村… (OUEEN-MURA) 2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用し、地域活性化につなげることを目指し、大会期間中に競技などをパブリックビューイング(多くの人が集まり巨大モニター等を利用して応援すること。)で観戦できるよう全国各地に設置する。応援村の開設に当たっては、賛同する地方自治体を主催者とし、飲食や物販、休憩ができる場所などを設けることができ、令和2年夏までに全国2000か所に設置、2000万人の来場者を目指す。



東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーの様子

一般質問

浅尾 公厚 議員

1 防災について

(質問)

本市の国道、県道、市道には橋がいくつかあり、南海トラフ地震発生後いくつかの橋が通行可能か

(まちづくり対策課長)

国道321号には50橋、県道には68橋、市道には198橋あり、国道321号や県道では、落橋対策の必要な12橋全ての工事が完了している。

南海トラフ地震などの大規模災害が発生した際に、被害者の救助活動や救援物資の輸送などを円滑に行えるよう緊急輸送道路や啓開道路での対策を重点的に進めており、落橋対策は概ね完了している。

(質問)

国道321号の特に崩れやすい箇所や土質は調べているか

(まちづくり対策課長)

道路管理者である高知県に確認したところ、道路防災総点検を実施

しており、要対策箇所について、緊急輸送道路や啓開道路を優先して、防災対策を進めている。

(質問)

道路の復興の見通しは

(まちづくり対策課長)

地震発生後の負傷者の救援救出や、応援物資などの受け入れを迅速に行えるよう「高知県道路啓開計画」が策定されており、県や建設業者等と連携を行い、市内全体の道路復興に努めていく。

(質問)

グリーンハイツ、旭ヶ丘、清水ヶ丘等高台の発災後の水対策は

(水道課長)

グリーンハイツは、総合公園入口付近まで連結した配水管により緊急給水対応。旭ヶ丘は、地区内配水池からの連絡管の整備を予定。清水ヶ丘は、整備した地区内配水池を使用しているが、発災直後から給水制限を行い、断水となる。

住民には、飲料水の備蓄確保をお



願いするとともに、今後、地区内配水池から給水タンクへの分水による対応など、対策を検討したい。

(質問)

高台に水槽を設置する案はある

か

(水道課長)

現在、総合公園体育館横に耐震貯水タンクを設置。高台の水槽設置は、発災後の避難所及び復興計画などを踏まえて整備計画、貯水槽などの配置計画策定を検討することが必要だと考える。

(質問)

トラック及び給水タンクを活用したことがあるか

(水道課長)

平成10年の渇水時や、平成13年の西南豪雨などで給水車、給水タンク配備を実施。各所施設故障時や火災時に給水車を配置するなど、予防的な給水車配置準備も行っている。

気になる用語

啓開…切り啓くこと。南海トラフ地震や豪雨災害などが発生した際には、救援部隊(自衛隊、消防、警察、(災害派遣医療チーム)など)や支援物資等の輸送道を確保するため、道路上の障害物を取り除き、緊急車両が通行できる状態にすること。



給水タンクと給水車

一般質問

岡本

詠
議員

1 布地区におけるサーファーによる迷惑駐車について、行政として何か対策はできないか

(質問)

住民からは、迷惑駐車防止の条例制定や、防止に向けた措置を求められているが、市長の見解は

(市長)

駐車マナーだけでなく、路上でバーベキューや車中泊、夜間の騒音、ごみ捨てなど、地域住民の生活環境まで影響を及ぼす状況。さらには、パトカーがきて注意されたいなくなるがその後また駐車する、悪質極まりない。

地域の皆さん、地元サーファー、議会と行政が一緒になり前向きな議論で解決するよう総力を挙げてやっていただきたい。

2 学校給食について、保護者からは食材の産地の公表を要望する声があるが

要望する声があるが

(質問)

食育の観点からも、全ての食材の産地を公表していくべきでは？

(教育長)

子どもたちにとって、食材の産地を知ることは食育にもつながるとともに、食べ物の命について学ぶ良い機会になるのではと考える。産地公表に向け保護者の要望にもできる限り沿えるよう検討していく。

3 債務超過に陥っている、元氣プロジェクトの赤字運営について

(質問)

元氣プロジェクトの決算書では、1477万775円の債務超過となっている。前期繰越剰余金のマイナス7095万2725円を考えると、創業当初から赤字が続いてきたものと推測できる。

前期までの赤字を見た上でどう対処しているのか見た場合、役員報酬ひとつとってもこの分だけで対



処の仕方によっては赤字が消えているはずなのに、普通に計上されている。

さらに、こういう状況の中で退職慰労金として100万円を出している。

普通の会社ならこんなことは考えられないが、三セクだから考えられる事案だと思う。しかし、三セクとはいえ経営陣の役割は「いかに利益を生み出資者に分配するか」という采配と能力が求められている。

資本金の7割を市が出資している。つまり、一番つぎ込んでいるのは市民の税金、その市民に対して利益が返ってこない。しかし、役員報酬はしっかりと取っている。

このような元氣プロジェクトの運営について、市長の見解は

(市長)

これまで、大変厳しい経営状況であったが、今回の合併で土佐食と連携することにより必ずや経営の安定化を図っていけると期待している。

気になる用語

債務超過…貸借対照表に記載されている会社保有のプラスの価値のある資本金や法定準備金などを資産、返済義務のあるものを負債といい、この負債が資産の額を上回る状態のこと。



8月の県道間崎布堂ヶ谷線(布地区)の様子

委員会の 審査内容 (抜粋)

9月会議

予算決算常任委員会

令和元年度土佐清水市

一般会計補正予算

(第3号)について

◆ジオパーク推進費に

ついて

(委員)

環境省が建設中のビジターセンターについて、国立公園の案内所の役割を担うこととしているが、ジオパークの拠点施設として、建物の利用について問題ないのか。

(執行部)

ジオパーク活動において、まずジオパークの拠点施設は、これからさらに活動を推進する上で必要となること、また、国立公園のビジターセンターについては、地域の自然を保全して活用する目的の

施設であり、基本的には、ジオパークと同じ目的、理念を持つていてという観点から、環境省とこれまで協議等を重ね、ジオパークの担当業務が入るということについては理解を得ている。

(委員)

ビジターセンターの費用とジオパーク拠点施設として必要な費用の内訳は。

(執行部)

職員体制として、ジオパークの専任が4人ないし5人、ビジターセンターの運営担当が3人で想定しており、そこで利用するノートパソコンや机といったものを今回計上している。予算としては、14節の機械器具借上料として30万2000円計上しており、そのうちの5人分がジオパーク分となる。

(委員)

市が直営することへの認識は。

(執行部)

市が直営で行うのか、地元の人たちと協議会を設立する

のか、または既存の団体に任せるのか等の議論を行い、いったんは、既存の団体が行うことに決定していたが、人材不足や人材育成の観点等から、市が直営で行う方向で進めることになり、国立公園の管理、そしてジオパークの推進を効率的に行っていくことになった。



ジオパーク活動の様子

平成30年度土佐清水市

一般会計歳入歳出決算の
認定について

◆がんばる地方推進費に ついて

(委員)

集落活動センター推進事業について、決算審議における事業説明書では、事業の課題として「この取り組みが地域全体へ広がってない」と書かれているが、広まるというのはどういうことをいうのか。

(執行部)

集落活動センターに携わる方が固定化しているため、若年層や下川口地区全体、さらには他地域にも影響を与えたという意味で挙げている。

(委員)

集落支援員の業務内容は。

(執行部)

地域間の調整や行政機関との調整を行い、地域を限定した形で集落に入って活動を行っており、地域おこし協力隊を卒業した者が非常勤の特別職である集落支援員として配属になっている。

(委員)

今後この下川口の集落活動センターの取り組みがほかの地域の典型として成功しても、補助が3年限定となっており、補助が終わっても自立できるか大きな課題になると思う。今後どう考えているか。

(執行部)

課題は主体的に取り組むメンバーが固定化をしていることで心配もしているが、皆が頑張っている、持続可能となるよう、バックアップしながら独り立ちできるよう取り組みを強めていきたい。



◆観光振興費について

(委員)

ジョン万次郎NHK大河ドラマ化実現事業について。

(執行部)

商工会議所と連携し、ジョン万大河ドラマを実現化するため署名活動や要望、NHKへの陳情、リーフレットやうちわなどを作製している。

(委員)

NHKへの陳情について。

(執行部)

年に1回、県の実行委員会のメンバーがNHK放送センターを訪問し要望活動を行っている。

(委員)

市民祭あしずりまつり事業補助金に関連して、これまで青年会議所にあしずりまつりの協力をいただいていたが、来年はどうなるのか。

(執行部)

まつりを運営する中心的なメンバーとして、特に寄附集めを青年会議所が中心に行ってきたが、青年会議所が解散するという状況であるので、市長が委員長を務める実行委員会全体で検討していく。

(委員)

大型客船の回航経費補助金に関連して、あしずり港への年間寄港回数は。

(執行部)

例年1〜2隻、多い時で2隻にとどまっている。

(委員)

大型船が寄港して土佐清水市にどれだけの経済効果があるか。

(執行部)

30年度に2隻、つぼん丸とぼしふいつくびいなすが寄港し、乗船客数が両船とも4

10人ずつ、820人が寄港し、ジョン万次郎資料館に7

30人程度が入館したほか、足摺岬経由で竜串にバスで巡回し、大月町や四万十市を周遊する方もいる。

(委員)

岸壁で出会った乗客から「もっと清水を見たいがバスやタクシーなど移動手段がない」との声があった。

もっと清水を見てもらうための対策について要請する。

(委員)

爪白キャンプ場再整備事業の工事費や備品購入費について。

(執行部)

備品購入費の9720万円は、改修工事に含まれており、起債、県の補助対象になっている。財源は、総事業費3億8592万3733円のうち、過疎債の充当及び県からの交付金が後年度に交付され、市の実質的な負担分は2857万4000円となる。

本年4月以降の利用状況についても、8月末までに35

88人の宿泊があり、月平均の目標値が727人にに対し、

現状は897人で推移。

総務文教常任委員会

土佐清水市課設置条例の一部を改正する条例の制定について

(執行部)

来年1月から、現在の観光商工課内にあるジオパーク推進室を新たに課に昇格させる条例案で、新しい課名と所管する事務分掌について追記する議案である。

(委員)

課を新設したときの経費の見通しは。

(執行部)

今回の補正予算は12月から向こう4か月分であり、その中にはビジターセンターに新たに雇用する任期付職員の人件費、ビジターセンターの維持管理費ということで410万円を補正。年間では、およそ1500万円という形であるが、現在でもジオパーク推進室には補佐以下4名の職員がいるので、課となつて増えるのは、現状の職員配置で言えば、課長補佐と課長の人件費の差額分だけ増額になる。



ジョン万資料館



連休中の爪白キャンプ場の様子



爪白キャンプ場に設置してあるモビルハウス「住箱」

(委員)

課新設のメリットは。

(執行部)

今まで、行政、ジオガイドをはじめジオパークに関わる人々が一緒に集まり、協議し、活動する場所、拠点がなかったことがクリアできること。

竜串を訪れる観光客の皆さん、ジオガイドの皆さんもジオサイトが近くにあることで様々な活動等をより身近に感じることができること。観光客、ジオサイトを学ぶ学生、専門家、国立公園に関わる方、ジオサイトに関わる方などのビジターセンター利用者の満足度に繋がると思われること。

反対討論

あえて課を外に出す必要はないし、課を新設する必要もないと思う。ジオパークについては、基本的に認定ではなく、環境保全の取り組みとして進めるべきで、その延長線上の成熟度によって認定があると思う。認定のために課を設置するのはいかなものかと思う。

ビジターセンターの運営費

は1500万円とのことである

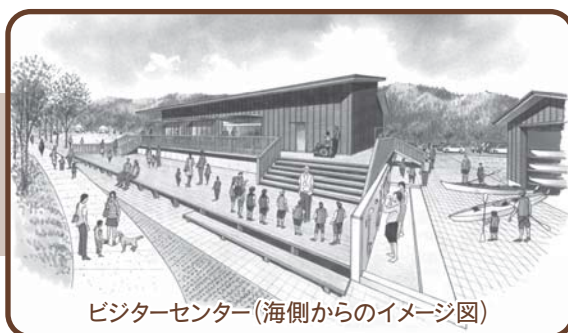
が、課を設置すれば、課長級の人件費が必要になり、あえて外へ出て取り組むほどのメリットがあるのかと疑問に感じる。庁内で対応した方がいいのではないのか。

賛成討論

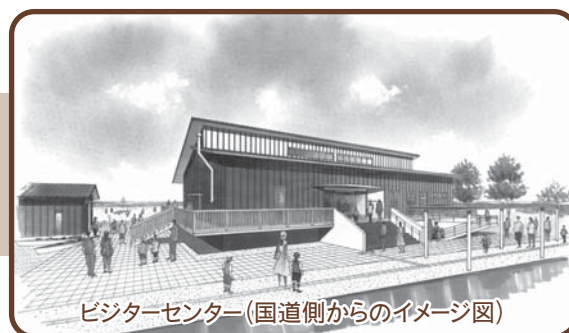
土佐清水市の観光産業の現状を考えたとき、総合戦略の一つとして竜串再生事業があり、ジオパーク構想がある。未来のビジョンの中の戦略の一つと考える。

ビジターセンターができることで、地元との関わり方も密接になることから、期待感も高い。

国立公園というものが、ジオパークにおいても大きな看板になり得る。メリット、デメリットを考えるとメリットの方が大きいと考える。



ビジターセンター(海側からのイメージ図)



ビジターセンター(国道側からのイメージ図)

産業厚生常任委員会

工事請負契約の締結について

(執行部)

農林水産課が所管する市の重点事業「メジカ産業再生プロジェクト」に伴い整備する施設、残渣加工施設の工事について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条、議会の議決に付すべき契約1億5000万円を超える入札額となったことに伴い、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求めるもの。

施設の概要については、浦尻残渣加工施設の加工能力が1時間1トン、1日当たり5トンを予定しており、延べ面積は680平方メートルとなっている。また、この事業は、防衛省のリマ区域周辺漁業用施設設置事業を活用して行うもので、工事の内容は、建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事、プラント設備工事となっており、工期について

では、議決後に工事に着手し、令和2年5月下旬の完成を予定している。

(委員)

残渣加工施設に関連して、今後のメジカ産業再生プロジェクトの取り組みは。

(執行部)

残渣加工施設完成後は、共同加工施設の工事を行う予定となっており、今年度、種子島周辺漁業対策事業を活用して実施設計業務を行い、防衛省の事業ヒアリングを経て、来年度から2年をかけて共同加工施設の建設を予定している。

宿泊温泉施設足摺テルメの指定管理者の指定について

(執行部)

宿泊温泉施設足摺テルメの指定管理者の指定管理期間が、令和2年3月31日までとなっており、4月以降の指定管理者及び指定期間について、議会の議決を求めるもの。
現在の指定管理者である株式会社アクトリゾートから引

き続き契約の希望があり、本来5か年の指定期間を、現施設の状態で、現指定管理者の管理状況から、抜本的に今後の施設のあり方について検討が必要との判断により、短期間の1年間とし、この間に今後の方向性を明確にしたいと考えている。

(委員)

今回の議案は、期間を単年度にすることだけで、減免等の協定について変更はないのか。

(執行部)

基本的には現在の協定内容を1年間引き継ぐ予定である。現在パートタイムを含めて40人ほどの雇用もあり、足摺岬の中核施設として、赤字の中でも足摺観光のイメージの保持及び雇用についても頑張っているとの評価もしており、減免規定についても、今の条件でもう一年継続していきたい。

(委員)

赤字のために減免を繰り返していくのは、税金を投入し

ていることにもなり、市民の納得は得られないと思う。売却も視野に入れるとの市長答弁もあつたが、売却についての見解を求める。

(執行部)

テルメについて、いくつかの企業から問い合わせがあり、また、アクトリゾートからも引き続き指定管理の希望があり、将来的には購入も考えているとの話もある。来年3月末で指定管理期間が切れると、観光施設は6か月先の予約を入れてるので、予約状況にも重大な影響が及ぶこととなり、また、40人近い従業員の生活も左右することになるため、1年間の指定管理として議決をいただいた後、今年度3月末までに今後のあり方について詰めた協議をしていきたい。

(委員)

売却も視野に入れた検討を要請する。



足摺テルメ

中央商店街災害復興 対策特別委員会

調査及び審査結果報告

平成31年1月2日に発生した中央商店街の大規模火災は、11棟を全焼し、焼失面積は約1500平方メートルと、本市始まって以来の大災害となりました。

当中央商店街災害復興対策特別委員会は、1月21日に開

会した平成31年土佐清水市議会定例会1月会議において、火災後の瓦れき撤去を目的に組織したところであります。

2月1日には、高知県庁を訪問し、県知事と県議会議長に「大規模火災に対する早期再建・復興支援に関する要望書」を提出し要請を行いました。尾崎知事からは「土佐清水市の中心商店街復興に向け、協力を惜しまない」との言葉をいただき、高知県議会2月定例会には関連予算案を提出、可決されました。

本市においても、2月18日に再開した平成31年土佐清水市議会定例会2月会議において、土佐清水市被災建物等撤去等支援事業分担金徴収条例案及び火災により損傷した商店街の街路灯の修繕費用のほか、火災瓦れきの撤去費等にかかる費用として1300万円を補正計上し、全会一致で可決いたしました。これにより、被災された方々の負担が軽減されたことは、大変感謝しております。

瓦れき撤去の工事も終了し、今9月会議においては、瓦れき処理について、土佐清水市清掃センター（最終処分場）の最終的な処分方法として、

再度分別作業を行った後、安全性を高めるため遮水シートを敷いた上で埋め立て工事を行う工事請負費等278万3000円が予算計上され、本日、議決されたことに伴い、所期の目的を達成することができたものと考えております。

当委員会といたしましては、役割を終了したと判断し、今後の諸問題につきましては、所管の委員会に託すこととし、全員一致をもちまして、中央商店街災害復興対策特別委員会を解散することといたしました。

議員各位及び執行部の皆様におかれましては、御支援、御協力に対し、厚く御礼申し上げます。当委員会の報告といたします。

委員会の活動報告

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会を円滑に運営するために設けられており、議会運営についての協議、検討、議事運営の調整などを行っています。

9月30日には、議長及び委員長名で執行部に対し、一般質問通告後の質問取材の後、諸般の事情がある場合や、通告内容が一般質問の範囲を超えて答弁できない場合等に対しては、事前に議長に対して報告するよう要請いたしました。



議会報告会について

毎年3月会議及び9月会議終了後に行っております議会報告会について、議会報告会のあり方や報告内容、実施場所等について検討が必要と判断したため、今回、令和元年9月会議後の議会報告会は休止することにいたしました。

市民の皆様におかれましては、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

陳情・要望等

件 名	陳情者
土佐清水市迷惑駐車防止に関する条例の制定についての陳情	布郷区長 川村 勝俊 氏 布浦区長 三木 篤 氏 布東谷区長 西畑 清造 氏

9月6日に布地区の3区長の連名で、本市迷惑駐車防止に関する条例の制定についての陳情が提出され、9月会議での取扱い期日は経過していましたが、早急に対応することが必要との判断から、9月会議で委員会に付託し、休会中の継続審査となりました。

シェイクアウト訓練を実施しました

高知県が実施する「高知県シェイクアウト訓練」が9月2日に行われました。シェイクアウト訓練とは、「姿勢を低く、頭を守り、動かない」という安全を確保する行動をとる訓練で、議会運営委員会中にシェイクアウト訓練の防災無線が流れ、議会運営委員会の委員も机の下に隠れて、訓練終了の放送が流れるまで待機していました。

議員からは「思ったより長い1分間だった。」「これが本当の地震だったら、すごく長く感じると思う。」との声が上がっていました。



議長の活動報告

議長は年間を通じて議会を代表し、各種行事、式典や会合等に出席するほか、本会議において議事を整理し、議会の事務を統理するといった職務を遂行しています。

7月から9月までの議長の主な活動状況については、左のとおりとなっております。

- 7月
- 1日 土佐清水ジオパーク推進協議会役員会
 - 2日 豊見城市長等表敬訪問(沖縄県豊見城市ほか)
 - 5日 高知県防衛協会土佐清水支部役員懇談会
 - 6日 越境会懇親会
 - 7日 竜串桜浜海水浴場「海開き」
 - 11日 土佐清水ジオパーク推進協議会総会
 - 15日 宮澤賢治「雨ニモ負ケズ」詩碑完成式典
 - 17日 全国市議会議長会社会文教委員会
正副委員長会議・第165回社会文教委員会

(東京都)

- 23日 「県道中村宿毛線整備促進期成同盟会」総会

(三原村)

- 24日 ジョン万次郎NHK大河ドラマ化実現実行委員会

- 31日 四国横断自動車道高知県建設促進期成会

通常総会・四国横断自動車道整備促進大会

(四万十市)



全国市議会議長会社会文教委員会の様子

- 8月
- 3日 第58回市民祭あしずりまつり

- 5日 土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会

定期総会(四万十市)

- 6日 幡多三市一町一村区長会連絡協議会知事要望

- 9日 四国西南地域市議会議長懇談会定期総会

(愛媛県大洲市)

- 19日 国道321号改良促進期成同盟会総会

- 21日 土佐清水ワールド五反田店

オープニングセレモニー(東京都)

- 22日 高知県日台親善協会懇親交流会 (高知市)

- 27日 高知縣市議会議長会臨時総会 (土佐清水市)

- 9月
- 3日 台湾インターン生歓迎式

- 14日 しおさい敬老祝賀会

- 16日 市街地敬老会

- 29日 土佐清水分屯基地開庁24周年記念行事



全国市議会議長会社会文教委員会
正副委員長による要望活動の様子(厚生労働省)



土佐清水ワールド五反田店
オープニングセレモニーの様子



7月 10日 議会運営委員会／議会だより編集委員会
17日 議会だより編集委員会
18日 市町村議会議員研修(高知市)
22日 幡多三市議会議員研修(四万十市)
30日 土佐清水市中高生みらい議会

8月 26日 議会運営委員会／全員協議会
30日 総務文教常任委員会／産業厚生常任委員会

9月 2日 議会運営委員会
9日 9月会議再開
17日 質疑・一般質問
18日 一般質問／議会運営委員会
19日 一般質問
20日 総務文教常任委員会／産業厚生常任委員会
24日 予算決算常任委員会／中央商店街災害復興対策特別委員会
25日 予算決算常任委員会／議会運営委員会
30日 議会運営委員会／産業厚生常任委員会／9月会議散会

編集後記

9月会議では、中央商店街災害復興対策特別委員会が解散いたしました。この特別委員会は、1月2日の中央町火災の瓦れきの撤去を目的に1月会議で設置され、火災ごみについて、最終的な処分方法による予算案を全会一致で可決し、所期の目的を達成したことに伴い、解散となりました。今後も議会といたしましては所管の委員会を中心に引き続き中央商店街復興のための支援を行ってまいります。

また、議会報告会につきましては、今回、休止することが決定いたしました。市民の皆様からご意見があり、報告内容を再検討し、内容の充実を図り、より良い議会報告会になるよう議員一丸となって協議を重ねていく所存であります。来年3月会議後に行う報告会まで少々お時間をいただきたいと思います。

10月12日に上陸した台風19号により甚大な被害が相次ぎました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。

委員長 細川 博史

市議会を

傍聴してみませんか

開催日程など詳細は、事前に議会事務局(☎(82)1112)まで

お問い合わせください。

次の開催予定は12月上旬です。日程が決まり次第、防災行政無線及びホームページでお知らせいたします。

本会議の一般質問など会議での発言を記録した「会議録」を作成しています。会議の詳しい内容は会議録をご覧ください。

ホームページでの検索・閲覧のほか、市民図書館・議会事務局でも閲覧できます。

土佐清水市議会だより

編集委員会

委員長 細川 博史

作田 喜秋

弘田 条

武政 健三

前田 晃

